

議 第 13 号

早稲田大学新設医学部の県畜産試験場跡地への誘致に関する決議

上記議案を別紙のとおり茨城県議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成24年6月15日

茨城県議会議長 磯崎 久喜雄 殿

提出者 茨城県議会議員 海野 透

同 石川 多聞

同 西條 昌良

同 葉梨 衛

同 田山東湖

同 桜井 富夫

同 白田 信夫

同 藤島 正孝

同 江田 隆記

早稲田大学新設医学部の県畜産試験場跡地への誘致に関する決議

本県の人口10万人当たりの医師数は、全国平均の230.4人（平成22年）に対し、166.8人と全国最下位クラスの46位に低迷しており、この状況が長年にわたり続いている。

特に県北、鹿行地域等の医師数については、全国平均の半分にも達していない。

このような医師の絶対数の不足により、今後、全ての県民が等しく十分な医療を受けられないことも危惧され、県民の将来への不安が高まっている。

この危機的な状況において、県としては、厳しい財政状況の中、年間10億円以上もの予算を措置し医師確保に努めているが、現状は依然として困難なものとなっている。

こうしたなか、本県の中央部に位置する笠間市には、医学部の立地に適した県畜産試験場跡地（県有地：約35ヘクタール）があり、当該地に医師不足解消を図るため、早稲田大学新設医学部を誘致することは、先進・高度医療や研究機関としての拠点形成され、近隣の県立中央病院をはじめ県内医療機関との連携とあいまって、本県の医師確保、医療体制の充実及び医療水準の向上に極めて有効である。

よって、茨城県議会は、早稲田大学新設医学部の県畜産試験場跡地への誘致を強く求めるものである。

以上、決議する。

平成24年6月 日

茨 城 県 議 会